

非歩行露出工法

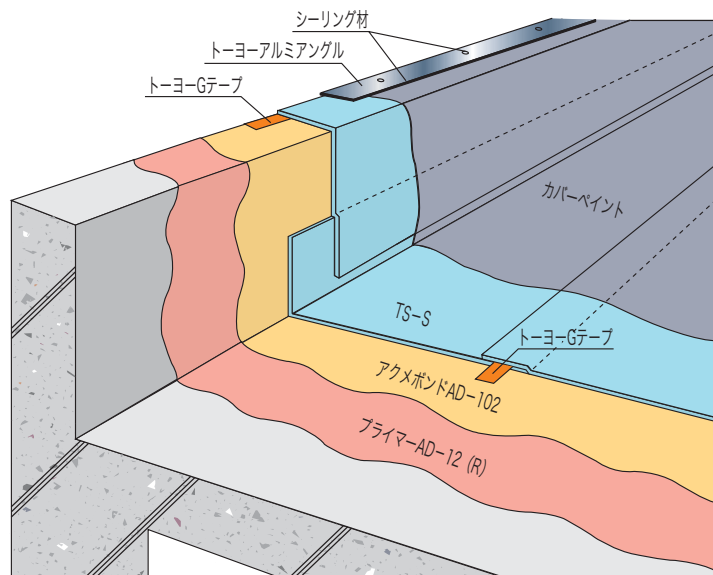
501S

比較的急勾配の屋根から変形屋根に至る広範囲な屋根に向いている標準的な工法です。

シート防水の基本として、防水層の長期にわたる耐久性が実証されています。

下地	R C	標準量/(㎡)
1	プライマーAD-12 (R)	0.2kg
2	アクメボンドAD-102 (下地)	0.2kg
3	アクメボンドAD-102(シート)	0.2kg
4	トヨシートエキストラTS-S	
5	カバーペイント	34頁参照

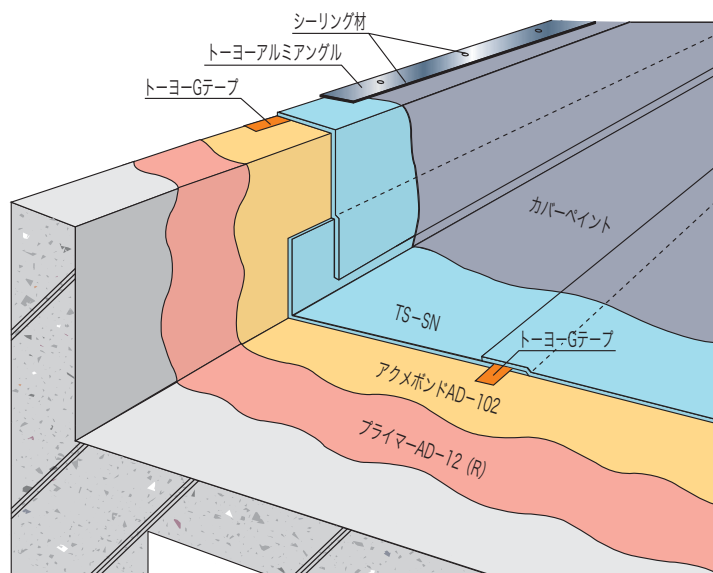
※公共建築工事標準仕様書(S-F1)に適合する工法です(但し、立上り接合部にはGテープを挿入し、カバーペイントTCの塗布量は0.25kg/㎡としてください。)



501SN

工場であらかじめトヨシートエキストラTS-Sに接着剤を規定量均一に塗布した糊付きタイプのシートを用いた標準的な工法です。シート防水の基本として、防水層の長期にわたる耐久性が実証されています。

下地	R C	標準量/(㎡)
1	プライマーAD-12 (R)	0.2kg
2	アクメボンドAD-102 (下地)	0.2kg
3	トヨシートエキストラTS-SN	
4	カバーペイント	34頁参照



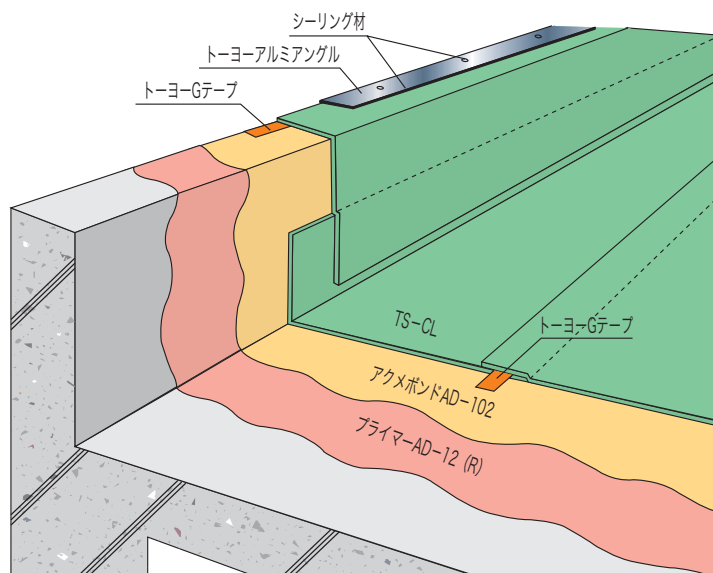
501CL

耐摩耗性に優れたカラー層を持つトヨシートエキストラTS-CLを用いて、現場での塗装仕上げを省力化した工法です。

塗り替えの必要性がなく、メンテナンス費用の低減にもつながります。

下地	R C	標準量/(㎡)
1	プライマーAD-12 (R)	0.2kg
2	アクメボンドAD-102 (下地)	0.2kg
3	アクメボンドAD-102(シート)	0.2kg
4	トヨシートエキストラTS-CL	

※シート厚2.0mmの場合は軽歩行(601CL工法)が可能となります。



非歩行露出工法

551S

ALC・PCa板などの目地処理をおこなって、下地の挙動変化に対応できるようにした工法です。

下地	ALC・PCa	標準量(/㎡)
1	プライマーAD-12	0.3kg
2	アクメボンドAD-102 (下地)	0.2kg
3	アクメボンドAD-102 (シート)	0.2kg
4	トヨシートエキストラTS-S	
5	カバーペイント	34頁参照

※PCaおよび前処理をおこなったALCの場合、プライマーAD-12(R)の標準塗布量は0.2kg/㎡となります。
ALCの短辺目地部にはクラフトテープを張り付けます。

※公共建築工事標準仕様書(S-F1)に適合する工法です(但し、立上り接合部にはGテープを挿入し、カバーペイントTCの塗布量は0.25kg/㎡としてください。)

※ALCロックンク構法の場合は、11頁を参照してください。

